

# Shinsaibasi Reform Magazine

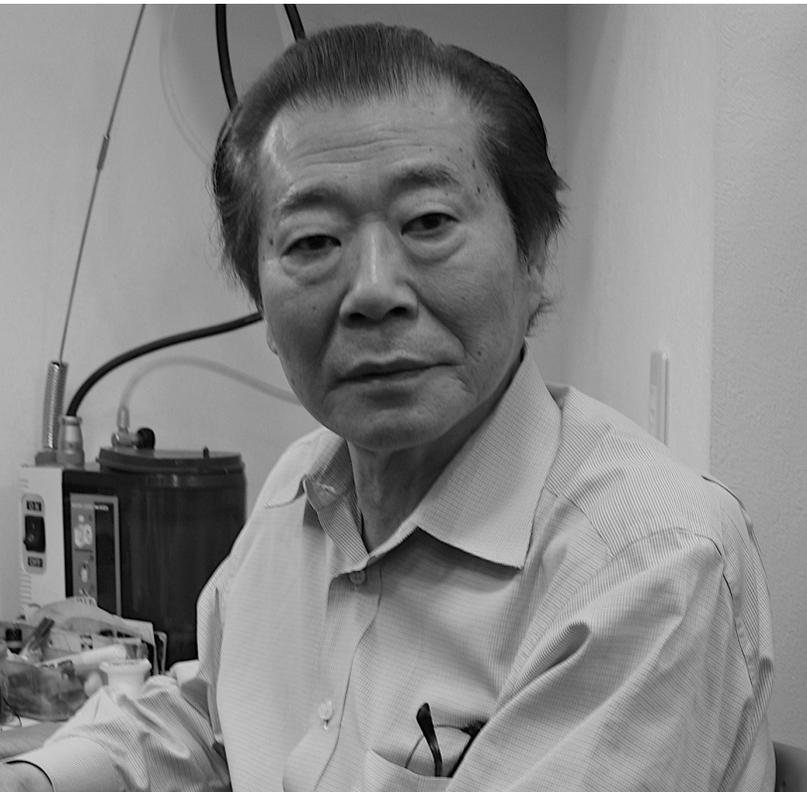
vol.4

Profile of an artisan 職人の横顔

Profile  
of  
an artisan

心齋橋リフォームの美しい仕上がりは  
多くの職人たちの腕から生まれる。  
店頭ではお目にかかれない職人の横顔に迫る !!





**不可能を可能にする  
キャリア 50年のスキル**

北川 直行さん Kitagawa Naoyuki

大阪・茨木市出身 B型 天秤座

キャリア：50年

担当：テーラード

勤務：大阪・梅田店

**Q もともとテーラーご出身だとか。**

北川\_実家は2代続いたテーラーですから、私自身もテーラーを志して修行に入りました。私で3代目になります。しかしテーラーで服を仕立てる人が次第に減ってきましたら、服を修理するリフォームを始めたのです。それから海外の著名なブランドの直しを手がけるようになり、心斎橋リフォームで仕事を始めてから18年経ちます。

**Q 心斎橋リフォームが得意とする超絶リフォームの中にポケットやボタンの位置を変えずに着丈を詰めるというメニューがありますが、北川さんはそのスペシャリストだと伺っていますが。**

北川\_襟と袖を取り外し、肩線の縫い代を解いて着丈を詰め、それを元に戻す作業を手がけています。



**Q** それはすごい作業ですね。

北川\_私はテーラーですから、服を解いてパーツごとに並べなくても見たら全てがわかりますから。

**Q** 接着芯を使い、クセを採ってプロポーションを作っているテーラードは珍しくありませんが、クセは何年か着て、そこそこクリーニングに出していると取れてしまいますが、それも直されるとか。

北川\_外観は格好がいいですが、解いてみると中の作りが雑にできているものを多く見てきました。クセが取れてしまった場合には、一度解いてアイロンでクセの採り直しをしますが、それでも上手く行かないことがあります。その時は芯地を入れ替えたり、場合によっては芯地をオリジナルで作ри、新たにつける作業もします。

**Profile**  
**of**  
an artisan



**Q** それこそテーラー出身の方でない  
とできない領域ですね。

北川\_ただ直しを施す場合、一度解いて生地を足し増しすることが少なくないのです。その際、どこから生地を取るのがいいか、というのも生地が足りないことの方が多いのですから。そんな時は色々と考えて苦労しますが、生地が足りないなか、趣向を凝らして元どおりの形にするというのは楽しい一面でもあります。

**Q** もう少しで70歳になられるとか。

北川\_この仕事に定年はありません。道具も針とミシンさえあればいいですから。とはいえ、不可能に近いことに挑戦する仕事ですから終わりはないですね。

Profile  
of  
an artisan



---

クセが取れてしまったものはオリジナルで芯地を作り、それを新たに付け加えるとは凄いですね!!  
まさにテーラーとしての腕がないとできない領域。

心斎橋リフォームの職人さんはアイテム毎に担当が分かれていて、それぞれの分野に長けた人たちが、そこに携わるといっていますが、これは並大抵のリフォーム店では出来ませんね。

また腕を磨いて行けば定年がない仕事というのもこれからの時代にフィットしているのではないかと考えることもできます。職人になりたい!!と思われる方はお気軽にリクルートの欄に問い合わせをされるといいでしょう。

---

次回は大阪本社で勤務するハンドで仕上げる本切羽職人の声に迫ります。